

保育所等で流行しやすい感染症及び登所（園）のめやすについて

保育所における感染症対策ガイドライン（2018年改訂版）（2021（令和3）年8月一部改訂） 準拠

感染症名	主な症状	潜伏期間	登所（園）のめやす	意見書	感染経路	予防接種	
麻疹（はしか）	高熱・咳・鼻水・結膜充血・目やに・発しん・コプリック班	8～12日	解熱後3日を経過していること	要	飛沫・接触・空気	有	
インフルエンザ	突然の高熱・倦怠感・食欲不振・関節痛・筋肉痛・咽頭痛・鼻汁・咳など	1～4日	発症した後5日を経過し、かつ解熱した後3日経過していること	インフルエンザ 治ゆ報告書	飛沫・接触		
風しん	発熱・発しん・リンパ節腫脹・悪寒・充血	16～18日	発しんが消失していること	要	飛沫・接触		
水痘（水ぼうそう）	発しんが顔や頭部から全身に拡大 赤いぶつぶつ→水ぶくれ→かさぶたになる	14～16日	すべての発しんが痂皮（かさぶた）化していること		飛沫・空気		
流行性耳下腺炎 （おたふくかぜ）	発熱、唾液腺の腫脹・痛み片側が腫脹し、数日後反対側が腫脹することが多い	16～18日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹（膨張）が発現してから5日経過し、かつ全身状態が良好になっていること		飛沫（唾液）・接触		
結核	慢性的な発熱（微熱）、咳、疲れやすさ、食欲不振、顔色の悪さ	3か月～数年 10年 感染後2年以内、特に6か月以内に発病することが多い	医師により感染のおそれがないと認められていること		空気		
咽頭結膜熱（プール熱）	高熱、扁桃腺炎、結膜炎	2～14日	発熱、充血等の主な症状が消失した後2日経過していること		要	飛沫・接触	無
流行性角結膜炎（はやり目）	流涙・結膜充血・目やに片方の目で発症した後、もう一方の目に感染することがある	2～14日	結膜炎の症状が消失していること	飛沫			
百日咳	コンコンと咳きこんだ後、ヒューと笛を吹くような音を立てて息を吸うのが特徴で、連続性・発作性の咳が長期に続く	7～10日	特有の咳が消失していること又は5日間の適切な抗菌薬による治療が終了していること	経口・接触			
腸管出血性大腸菌感染症 （O157、O26、O111等）	水様下痢便・腹痛・血便 無症状の場合もある	ほとんどの大腸菌が主に10時間～6日 O157は主に3～4日	医師において感染のおそれがないと認められていること 無症状の場合、トイレでの排泄習慣が確立している5歳以上の子どもは登園を控える必要はない 5歳未満の子どもについては、2回以上連続で便から菌が検出されなくなり、全身状態が良ければ、登園可能	飛沫・接触			
急性出血性結膜炎	強い目の痛み・目の白目の部分の充血・結膜下出血、目やに、角膜の混濁	ウイルスの種類によって、平均24時間 又は2～3日と差がある	医師により感染のおそれがないと認められていること	飛沫・接触			
侵襲性髄膜炎菌感染症 （髄膜炎菌性髄膜炎）	発熱・頭痛・嘔吐	4日以内	医師により感染のおそれがないと認められていること	不要	飛沫・接触・経口	無	
溶連菌感染症	扁桃炎、伝染性膿痂疹（とびひ）、中耳炎、肺炎、化膿性関節炎、骨髄炎、髄膜炎など 扁桃炎：発熱、のどの痛み、腫れ、化膿、リンパ節炎	2～5日	抗菌薬の内服後24～48時間経過していること		飛沫		
マイコプラズマ肺炎	咳、発熱、頭痛などの風邪症状がゆっくりと進行し、特に咳は徐々に激しくなる	2～3週	発熱や激しい咳が治まっていること		飛沫・接触・経口		
手足口病	水疱性の発しんが口腔粘膜及び四肢末端に現れる発熱、のどの痛み、水疱（みずぶくれ）	3～6日	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること		飛沫		
伝染性紅斑（リンゴ病）	発熱、倦怠感、頭痛、筋肉痛等、頬が赤くなったり手足に網目状の紅斑が出現する	4～14日	全身状態が良いこと （妊婦への感染防止が重要⇒咳エチケット、手洗いの励行）		飛沫・接触・経口		ロタウイルス 有
ヘルパンギーナ	高熱（数日続く）、咽の痛み、口蓋垂付近に水疱疹や潰瘍形成	3～6日	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事ができること		飛沫・接触		無
RSウイルス感染症	発熱・鼻汁・咳・喘鳴・呼吸困難	4～6日	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと		水痘に罹患した場合、 発生することがある		
帯状疱疹	小水疱が神経の支配領域にそった形で片側性に現れる正中を超えない	不定	すべての発しんが痂皮（かさぶた）化するまで		唾液		
突発性発しん	高熱が、3～4日間続いた後、解熱とともに体幹部を中心に鮮紅色の発しんが出現する	9～10日	解熱し機嫌がよく、全身状態が良いこと		直接接触		
アタマジラミ	小児では多くが無症状であるが、吸血部位にかゆみを訴えることがある	10～30日 卵は約7日で孵化する	駆除を開始していること		直接的な接触		
疥癬	かゆみの強い発しん、水ぶくれ、しこり等	約1か月	治療を開始していること 手をつなぐなどの遊戯・行為は避ける	リンネン類や布団の共有			
伝染性軟属腫 （ミスイボ）	直径1～5mmの白～淡紅色のぶつぶつで、表面はつやがあつて一見水ぶくれに見える	2～7週	掻き傷から滲出液が出ているときは被覆すること	直接接触			
伝染性膿痂疹（とびひ）	水ぶくれ、ひらん、かさぶたが全身にみられる引かくと新しく水ぶくれ等ができる	2～10日	皮疹が乾燥しているか、湿潤部位が被覆できる程度のものであること	接触			
B型肝炎ウイルス	ウイルスが肝臓に感染し、炎症を起こす	急性感染では45～160日 （平均90日）	急性肝炎の場合、症状が消失し、全身状態が良いこと	血液感染	有		